

2023

同友しずおか

6

VOL.535

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」
「企業も地域もよくなった！」



私の逸品

ダイヤプラス(株)

「縁を大切に、絆を大切に」
地域貢献をする企業を目指して

～互いに支えあい、励ましあい、助けあう～
私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡県東区藤原町1-1-16 FAX/054-255-1620 Email/doyu@tsdoyu.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1067名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
うえはら ひろみつ 上原 啓慎	アートウォーター 水道設備業（上下水道工事、飲料水貯水槽清掃、プール設備）	伊 東	野村 勝也
さいとう ちあり 斉藤 智有	(株)竹川畜産 畜産（肉牛の肥育）	富士宮	中野 雄貴
くぼ たこうじろう 久保田紘二郎	葵会計事務所 サービス業（税務申告、税務相談、監査業務）	静 岡	事務局・ 久保田 松孝 (元会員)
すぎむら ゆうすけ 杉村 悠介	プルデンシャル生命保険(株)浜松支社 保険業（生命保険販売）	中 遠	生倉 滋人
むら た よしひろ 村田 吉寛	(株)Agrist 農業（野菜生産）	中 遠	生倉 滋人

※新会員の写真は e.doyu 「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。



「縁を大切に、絆を大切に」 地域貢献をする企業を目指して

ダイヤプラス(株) (御殿場支部)

代表取締役 前原 毅氏



古民家をリノベーションした店舗

現在、御殿場支部長の前原毅氏。これまでB to Bに向けた設備の設計・施工を一括で行っていた設備会社でしたが、2021年に飲食事業を新たに展開。なぜ飲食事業を始めたのか、お話を聞いてきました。

B to Bからの脱却

ダイヤプラス(株)は、創業から生業として建物・施設の空調や給排水、ガスの設計・施工・保守を行ってきました。2013年に父から会社を継ぎ、様々な経験・学びから会社を運営していく中で、経営に一番大切なことは「貢献性」であると考え、ようになりました。そこで、御殿場の地にて地域に関われる事業を展開できないかと考えていた時、縁あって古民家を購入。料理人との縁もあり、老若男女問わず食べに来れるうどん屋さんになり着きました。

うどんよりも 本当に提供したいもの

看板商品は関東の肉汁うどんを参考に、地域に合った味に改良。また、自社に製麺機があるため、うどんのコシと太さが一番の特徴です。その一方で、例えば子どもや高齢の方には、細目で柔らかく製麺するなど、お客様に合わせた商品開発を行い、

自信を持って提供しています。そのため、なんとオープンしてから大きな宣伝をしていないにも関わらず口コミで広がり、連日繁盛しています。

しかし、前原氏が一番提供したいものは、うどんではなく思い出であると熱く語ります。店舗の古民家は、前の持ち主から「また人が通うような場所になるなら」とゆずり受けたもので、入口の戸を開けると土間があり、靴を脱いで小あがりがあると、畳のにおい、木のぬくもりを感じる事ができる、どこか懐かしさがある佇まいです。そして特徴的なメニューに「いっちょうまえメニュー」があります。これは子どもが自分で選んで注文できるメニューで、これを誇らしげに注文する子ども、それを微笑ましく見る親御さんと、心がほっこりする魅力があります。



子どもが自分で注文できる「いっちょうまえうどん」も

す。また、店員のサービスはもろろのこと、「ごちそうさま」をした後の帰り際にはサービスでアイスが貰えるなど、また「帰ってきたくなるような」仕掛けが随所にあります。

自社の地域との関わりと今後について

開店から2年目を迎えるにあたり、口コミによりお客様が増え、様々な人が集まる起点になりつつあるこの場所を永く続けることが地域貢献であると前原氏は考え、「今の子どもたちが大人になって自分の子どもを連れて来る。そして、いつかは孫と来る。その様な思い出が紡ぎ出されるコミュニケーション」と語ります。同氏は「縁を大切にし、絆を大切にし、地域の繁栄に貢献します」という理念のもと、思いを持って地域に関わり、長い道のりかもしれませんが、着実に共感の縁が、そして絆が広がることで地

域が繁栄していくことを目指しています。



地域の切り絵作家がデザインしたロゴマーク

ダイヤプラス(株)

会社住所：〒412-0042 御殿場市萩原1360
TEL：0550-83-5095
URL：https://www.daiyaplus.co.jp/
設立：1976年
社員数：9名
入会年月：2006年7月
事業内容：空調・給排水・ガスの設備工事・保守、飲食事業【御厨まえはら】等

肉汁うどん まえはら

店舗住所：〒412-0045 御殿場市川島田162-1
TEL：0550-70-5050
URL：https://nikumae.com

取材・執筆・撮影：鈴木翔也氏
(株)トップ 御殿場営業所・御殿場支部
取材：石山美歌氏
(株)ワンジ ジャージャーラ・御殿場支部
片野貴一郎氏
(株)モスク・クリエイション・御殿場支部

50周年を迎え新たなスタート、 学びの輪をひろげ「誘ってよかった」同友会に！

県定時総会を4年ぶりリアルで開催

5月22日(月)、ホテルグランヒルズ静岡にて第50回定時総会が開催されました。出席者145名、来賓に高橋良和氏(静岡県経済産業部商工業局長)、清水宏一氏(財務省東海財務局静岡財務事務所長)、笹正光氏(厚生労働省静岡労働局長)、日詰一幸氏(静岡大学学長)、山本義彦氏(静岡大学名誉教授・静岡同友会顧問)をお招きしました。また、記念講演として重永忠氏(㈱生活の木 代表取締役CEO)にご講演頂きました。

開会あいさつでは遠藤一秀会長より「我々中小企業はDX、AI技術の活用など様々な転換への対応、また人手不足や原材料不足への対応が迫られています。このような時にこそ同友会の精神を生かし、経営の革新・強靱化にむけて進んでいただきたい」と話し、続いて3名の来賓より祝辞を頂きました。総会審議は、すべての議案が滞りなく承認され、15名の新理事を含む35名の理事が就任しました。2023年度スローガンは「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった！」です。

昨年度スローガンに「誘ってよかった」が加わりました。2023年度活動方針では松葉代表理事より「県内会員数1200名をめざします。新しい仲間を誘い、増やすことはもちろん、活動に参加する会員を増やすこと、支部や県を越え学びの幅を広げることも仲間づくり。自分のために、自社のために楽しく最後まで頑張りましょう」と参加会員に呼び掛けました。

議事、記念講演の後、4年ぶりに開催した懇親会では久しぶりに顔を合わせる会員も多く、賑やかで笑顔あふれる時間となりました。2022年度組織増強功労者の表彰では、4名の入会紹介で宇佐美健介氏(㈱エージェンツうさみ・県副代表理事)と江間省豪氏(データマイン㈱・県組織増強委員長)がチャンピオンに輝きました。静岡同友会設立から50年目を迎え、新たな歴史を創るスタートに相応しい定時総会となりました。記念すべき総会の記念講演は、参加者に多くの学びと気づきが凝縮していました。以下、一部となりますがご紹介します。

〈記念講演〉

「人材育成は経営者の最大の使命」

講師：重永 忠氏

(株)生活の木 代表取締役(CEO)

事業内容：ハープ・アロマセラピーの直営専門店、カルチャースクール、ネイチャーリゾートホテルの経営。Wellness & Well-beingなライフスタイルの提案



重永 忠氏

本日はコロナ禍でも信頼関係を強めた自社の取り組みや、結束力を高めるための人材育成についてお話していきます。コロナで店舗が休業した際、社長からすべての社員に雇用を守ることを約束し安心して休める処遇と環境を示しました。社員はかけがえのない家族。全社員の誕生日には名入れのプレゼントをメッセージと共に届け日頃の感謝を伝えていきます。また、リブランディングにより自社の存在意義を「Wellness & Well-being (心身ともに健康で幸福)」な社



4年ぶりリアル開催 145名が集う会場

会の実現とし、事業の可能性を広げました。組織の結束力を高め、ケイパビリティ(企業の組織的な強み)を発揮できるよう、徹底した仕組みづくりを追求しています。経営理念から方針、計画まで一貫性を持ち、一人ひとりの社員が腹落ちしています。人材育成の視点では、成長への強いコミットメント、社員が自分で決めること、社員に任せきること、互いに感謝とリスペクトを伝えることを重要視しています。任せることで社員一人ひとりが志事(仕事ではなく志のある事)として捉え、自己の成長意欲に繋がります。理念から制度・仕組みまで一貫した考え方のもと明確化し、自ら考えて行動できる人材を育てています。

私たちが静岡同友会の新たなリーダーです！

新理事紹介

5月22日に開催された県定時総会にて35名の県理事が就任し、15名の新理事が誕生しました。今年度も理事一丸となって、2025年ビジョン、2023年度重点方針の実現をめざし「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった！」と実感できる同友会を共に創ってまいります！
〈敬称略〉



副代表理事
塚本 和成
(有)塚本商店・志太支部



副代表理事
越膳 徹
(有)イーリード・沼津支部



副代表理事
伊藤 洋子
(株)シーエーティー・富士宮支部



沼津支部長
石澤 浩一
(株)Build East・沼津支部



女性部会長
梶川 久美子
(サツマ電機(株)・沼津支部)



経営労働委員長
中村 佐和子
(有)フラワーサーカス・静岡支部



組織増強委員長
江間 省豪
(データマイン(株)・浜松支部)



志太支部長
大池 盛一郎
(有)カーライフ静岡・志太支部



静岡支部長
大多和 宏明
(有)セイシンメタルプロ・静岡支部



富士宮支部長
穂坂 勝彦
(富士宮清掃(株)・富士宮支部)



富士支部長
佐藤 義幸
(松本工業(株)・富士支部)



プロジェクト担当理事
津賀 由布子
(有)サンディオス・沼津支部



プロジェクト担当理事
勝俣 智史
(株)フィットコーポレーション・御殿場支部



中遠支部長
兼古 東志浩
(株)アイビス・中遠支部



榛南支部長
鈴木 茂
(有)静岡オート・榛南支部

中小企業等支援に関する包括連携協定を富士信用金庫と締結 東部の全信用金庫との連携協定締結が実現 共に地域社会のさらなる発展をめざす



浅見祐司・富士信用金庫理事長（右）
 箕 威頼・静岡同友会代表理事（左）

締結式が行われ、本協定は中小企業が抱える経営上の各種課題の解決と地域の中小企業の発展を支援することで、地域経済を活性化させることを目的としています。目的の達成にむけて、(1) 中小企業等への情報提供、(2) 相互の研修等への参加・講師派遣、(3) 地域における経済情報、動向等に関する情報交換、(4) 個別企業からの相談対応、(5) その他中小企業等への支援に寄与する事項、の5点を掲げています。

「同友会ではよい会社・よい経営者・よい経営環境をつくることを目指して

学んでおり、中小企業が地域経済を支えていると自負を持つ経営者が集っています。中小企業は、常に経営環境が変わる中で、時代に合った経営が求められます。そのような中、中小企業が健全な経



箕代表の挨拶

営をし、大きくするために金融機関との連携が欠かせません。信用金庫は地域経済を支える非常に重要な存在です。富士信用金庫様との連携協定をもとに、地域を支える企業を増やすとともに、共に地域を支える存在になっていければと思います」と挨拶しました。

浅見理事長からは「当金庫は2023年で70周年を迎えます。改めて地域の皆様の支えがあってこそ今があると感じています。富士市は多様な産業があり、県下有数の工業都市です。地域の多くの中小企業を支えるべく、平成29年に事業サポート課を立ち上げ、地域企業の発展にむけた伴走支援に邁進しています。同友会の理念と当金庫の理念には相通ずるものがあります。様々な情報交換、企業の個別相談などを通して、地域の発

展と中小企業の皆様のさらなる経営力の強化に、共に頑張っていきたいと思えます。本日の協定締結を機にさらなる信頼関係を築いていきたいと思えます」とご挨拶いただきました。

富士信用金庫は、今年4月に同友会に入会、現在は川島氏(富士支部)が会員として会活動に参画しています。

これまで静岡同友会は、教育機関では2008年の国立大学法人静岡大学と「相互協力協定」を、また金融機関では2019年3月に当時の島田信用金庫(現島田掛川信用金庫)と、2020年7月に静岡信用金庫と、2020年9月に三島信用金庫、2020年10月に富士宮信用金庫、2021年5月に沼津信用金庫と「中小企業等支援に関する包括連携協定」を締結しています。

《当日の出席者》

富士信用金庫

- ・浅見祐司氏(理事長)
- ・市川義人氏(常務理事)
- ・川島宏之氏(融資部長)

静岡同友会

- ・箕 威頼氏(代表理事)
- ・松葉秀介氏(代表理事)
- ・佐藤義幸氏(富士支部長)
- ・加藤登久氏(富士支部相談役)
- ・遠藤正人氏(富士政策委員長)
- ・西村知浩氏(富士政策委員)

静岡同友会は5月2日(火)、富士信用金庫と包括連携協定を取り交わしました。これで県内6信用金庫(三島・沼津・富士宮・静岡・島田掛川・富士)と協定を締結しました。当日は富士信金から浅見理事長をはじめ3名、同友会からは箕・松葉代表理事をはじめ6名が出席し、

東海財務局静岡財務事務所との意見交換会

課題解決にむけ金融機関との連携の重要性を共有

5月30日(火) 同友会会議室

本年度で7回目となる東海財務局静岡財務事務所との意見交換会を開催しました。

静岡財務事務所からは清水宏一所長はじめ各課長の皆様、同友会からは井上、箕代表理事をはじめ副代表理事・政策委員長の総勢13名が参加。4年ぶりに同友会会議室でリアル開催が実現しました。はじめに井上代表理事から「7年前に始まった意見交換会をきっかけに県内信用金庫との連携が進み、同友会運動の活性化に繋がってきた。今回は4年ぶりのリアル開催、忌憚ない意見交換にしていきたい」と挨拶。続いて清水所長から「コロナも5類となり国内経済は回復傾向にあると言われている。しかしながら中小企業を取り巻く環境は決して楽観視できるものではない。中小企業の

や取組、課題を報告。静岡財務事務所からは人材確保や賃上げに関する国内の状況や取組みが共有されました。金融機関との連携については、企業側から積極的に情報を開示し、日常的にコミュニケーションを図ることが重要であることが共有されました。最後に箕代表理事より「中小企業が活性化しなければ地域は疲弊する。同友会が中心となって金融機関との連携を図ってきたい」と伝え閉会しました。

参加者感想

中小企業の現状と金融行政の考える理想にはギャップがあると感じていました。今回、金融行政の取り組みや目的、実態を聞き、自分自身が理解できていなかった部分が多くあったと実感すると同時に、中小企業の現状を直接伝えることができ充実した意見交換でした。このような意見交換の場だけでなく、日常的に経営者と金融機関が膝詰めで話し合うことが、互いのギャップを埋め、企業経営を前進させる大きな一歩になると感じました。

塚本和成氏(有塚本商店/県副代表理事)



清水所長



井上代表理事

生の声を聞き、今後の金融行政に活かしていきたい」と挨拶いただきました。意見交換では「景況感、人材確保、賃上げ、金融機関との連携」をテーマに参加会員の近況

ご参加いただいた財務事務所の皆様 (敬称略・順不同)

静岡財務事務所	氏名
所長	清水 宏一
総務課長	川上 正人
財務課長	林 敬広
理財課長	木下 研吾
管財課長	鈴木 博文



事業承継から現在までの歩みを語る山崎氏

当日、参加したオブザーバー1名より早速入会申込がありました。6月は柴田和哉氏(株)ヤマサン・静岡支部が登壇。ぜひお知り合いの経営者・後継者の方にご参加ください!

5月イントロセミナー 同友会と私

なぜ同友会に戻り、学ぶのか

5月26日(金) 同友会会議室

参加者21名

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。5月は精密板金加工工業を営む山崎かおり氏(株)山崎製作所・県副代表理事)が報告しました。

山崎氏が入会したのは2008年、その翌年に会社を継ぎました。リーマンショック後で経営が厳しく将来に大きな不安を抱く中、県経営指針を創る会を受講。しかし作成した経営指針書を発表したところ社員に伝わらず、社内アンケートをみると、仕事に誇りを持っていないといった回答がありました。そこから、社員にとつて夢があり、誇りのある仕事をつくる。ことが山崎氏の経営の中心になりました。その後、2015年に自社ブランド「三代目板金屋」を立上げ、2022年には念願の新社屋を建設。「様々な会にも参加していますが、同友会が私の経営の原点。経営者との交流から多くの学びを得ることができそうです」と参加者へ伝えました。

6月16日(金)	障がい者問題委員会中部関係機関との意見交換会 (19:00 同友会事務局)
20日(火)	第4回全県経営フォーラム実行委員会 (17:00 ZOOM)
21日(水)	沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ) 志太例会 (18:30 焼津市豊田公民館&ZOOM)
22日(木)	榛南例会 (19:00 きてご榛原)
22日(木)～23日(金)	第26回女性経営者全国交流会in福岡 (13:00 リーガロイヤルホテル小倉)
26日(月)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 三島例会 (19:00 三島商工会議所)
27日(火)	県組織増強委員会 (17:30 同友会事務局&ZOOM) 県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
28日(水)	第20期経営指針を創る会 第2講 (19:00 同友会事務局)
29日(木)	県理事会 (15:00 レイアップ御幸町ビル&ZOOM) 県役員研修会 (16:00 レイアップ御幸町ビル&ZOOM)

30日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」 (19:00 同友会事務局&ZOOM)
7月5日(水)	富士宮例会 (19:00 富士宮市総合福祉会館&ZOOM)
6日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
7日(金)	女性部ダイヤモンドカレッジ (12:00 中国料理富翠珠)
10日(月)	第20期経営指針を創る会 第3講 (19:00 同友会事務局)
11日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート6F) 浜松例会 (18:00 ザザシティ浜松中央館)
12日(水)	御殿場例会 (18:00 御殿場高原ホテル)
13日(木)～14日(金)	中同協第55回定時総会in埼玉 (13:00 ソニックシティほか)

《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》



第20期経営指針を創る会オリエンテーション

経営指針書は自社の未来をうみだすバイブル
～14名が第20期創る会の受講を決断～



創る会の説明をする中村委員長

5月15日(月) 事務局会議室・ZOOM 参加者40名

県経営労働委員会主催で約6ヶ月間かけて開催する経営指針を創る会(以下創る会)。今期で20期目を迎えます。受講希望者に概要を伝えるオリエンテーションに修了生含め40名が参加しました。

初めに、中村佐和子県経営労働委員長が創る会の沿革・申し合わせ事項の意義と自身の経験を説明。「受講前、私は社員との関わり方に悩んでいました。しかしやはり同じ経営者、似た悩みを抱える方はおり、意見交換の中で私の経営者像が徐々に形作られていきました。修了生の皆さんが自社のことを真剣に考えてくれ、とても感動しました。作成した経営指針書は経営のバイブルとなっています。創る会では厳しい意見もたくさんあります。しかし、それは真剣に考えてくれているからこそです」と伝えました。

続いて山本健二創る会会長から自身の経験とあわせて趣旨を説明。「私が参加した理由は将来のビジョンや理念がなく、経営に対して不安を抱えていたためでした。創る会では課題シートをもとに意見交換を行います。この期間は本気で自分と向きあう時間になります。私が受講生として参加していた時、真剣に自社のことを考えてくれる仲間に気持ちがあふれ涙することもありました。創る会には講師はいません。意見を交わす中で、自分で自社の存在意義や未来をうみだす場所です。参加者それぞれが本気で発言するため、厳しさを感じることがあるかもしれません。しかし、本気で向きあうからこそ、この半年間はかけがえのない時間になります」と伝えました。

その後、古川徹氏(株)フルカワ・榛南支部)からスケジュールや課題シートを説明、修了生からの感想では今井靖氏(株)カルゴ・静岡支部)、塩見康平氏(株)オミプランテック・榛南支部)が経営指針書作成の過程で悩んだこと、作成後に変化した考え方など自身の経験を伝えました。最後に井上斉代表理事から閉会挨拶がありました。

第20期は14名の受講生を迎え、6月10日(土)～11日(日)の一泊研修からスタートします。第1～19期修了生の皆さまのご参加もお待ちしています！